

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 家庭 科目 家庭基礎

教 科： 家庭 科 目： 家庭基礎 単位数： 2 単位
対象学年組：第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（1組： ） （2組： ） （3組： ） （4組： ） （5組： ）

使用教科書：（「家基705家庭基礎 気づく力 築く未来」（実教出版） ）

教科 家庭 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらにかかわる技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】さまざまな人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎 の目標： 自立して健康な生活を送るための基礎的な技術や知識を身につける

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	家庭科を学ぶにあたって これからの人生について考えてみよう 【知識・技能】 将来を見通した人生設計への課題を見つめる。 【思考・判断・表現】 自分の近い将来についての設計を考え、それらを具体的に描く。 【主体的に学習に取り組む態度】 現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲を持って取り組む。	1 自分の未来予想図を描こう 2 これからの人生をデザインする	【知識・技能】 自分自身や現在の社会状況を客観的に知り、将来を見通した人生設計への課題を見つけることができる。 【思考・判断・表現】 自分の近い将来についてのキャリアや生活の設計を考え、それらを具体的に描いていくことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲を持って取り組もうとしている。	○	○	○	4
	食生活をつくる 【知識・技能】 栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につける。 【思考・判断・表現】 自身の食生活や現在の食生活の課題解決に向けての判断ができる 【主体的に学習に取り組む態度】自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとする。	1 日本食の食文化の形成 2 私たちの食生活	【知識・技能】 栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。 【思考・判断・表現】 自身の食生活や現在の食生活の課題を発見し、課題解決のために思考し、解決に向けての判断ができる。 栄養の機能と食品、調理との関係において、食品選択、栄養計算や献立作成など、実際の食事づくりに向けての判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分自身の食生活について関心を持つとともに、自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとする。	○	○	○	4
	食生活をつくる 【知識・技能】 栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につける。 【思考・判断・表現】 自身の食生活や現在の食生活の課題解決に向けての判断ができる 【主体的に学習に取り組む態度】自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとする。	3 栄養と食品のかかわり 4 食品の選び方と安全 5 食事の計画と調理 6 これからの食生活を考える 調理実習	【知識・技能】 栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。 【思考・判断・表現】 自身の食生活や現在の食生活の課題を発見し、課題解決のために思考し、解決に向けての判断ができる。 栄養の機能と食品、調理との関係において、食品選択、栄養計算や献立作成など、実際の食事づくりに向けての判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分自身の食生活について関心を持つとともに、自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとする。	○	○	○	8
	定期考查			○	○		1

2 学 期	衣生活をつくる 【知識・技能】 衣服の素材の種類や特徴について知識を身につけ、用途に応じてどんな衣服が適切か理解する。 【思考・判断・表現】 現在の衣生活を取りまく状況について、自分の衣生活を振り返りながら、課題を導き出す。 【主体的に学習に取り組む態度】 基礎縫いの確認のための実習や、衣服調査などにおいて、積極的に取り組む。	1 人と衣服のかかわり 2 衣服の素材の種類と特徴 3 衣服の選択から管理まで 製作実習	【知識・技能】 衣服の素材の種類や特徴について知識を身につけ、用途に応じてどんな衣服が適切か理解できる。 【思考・判断・表現】 現在の衣生活を取りまく状況について、自分の衣生活を振り返りながら、課題を導き出すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 基礎縫いの確認のための実習や、衣服調査などにおいて、積極的に取り組もうとする。	○	○	○	12
	自分らしい生き方と家族 【知識・技能】 生活時間と労働との関係について理解する。 【思考・判断・表現】 家族・家庭に関する課題・問題点について、社会的な制度、労働環境や雇用情勢などを考慮しながら解決へ導くための考えをまとめ、発表する。 【主体的に学習に取り組む態度】 現在の社会的状況について、興味を持って知ろうとする態度がある。	1 自立と共生 2 ライフキャリア 3 共に生きる家族 4 家族に関する法律	【知識・技能】 現在の生活時間の状況をふまえ、生活時間と労働との関係について理解できる。 【思考・判断・表現】 家族・家庭に関する課題・問題点について、社会的な制度、労働環境や雇用情勢などの背景も考慮しながら解決へ導くための考えをまとめ、発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 男女共同参画社会など、現在の社会的状況について、興味を持って知ろうとする態度がある。	○	○	○	8
	子どもとかかわる 【知識・技能】 子どもとの接し方、子どもの衣食住にかかわる物づくりなどの技術を身につける。 【思考・判断・表現】 子どもの心身の発達、現在の子どもの取り巻く状況や子育ての環境について、課題を見つけ、解決への考えをまとめる。 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもを取りまく状況について、現状を知り、その課題を見つけ、解決に向けて考える。	1 子どもとは 2 子どもの発達 3 子どもの生活 4 子どもをはぐくむ 5 子どものための社会福祉	【知識・技能】 子どもとの接し方、子どもの衣食住にかかわる物づくりなどの技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 子どもの心身の発達、現在の子どもの取り巻く状況や子育ての環境について、課題を見つけ、解決への考えをまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもを取りまく状況について、現状を知り、その課題を見つけ、解決に向けて考えようとしている。	○	○	○	6
	高齢者とかかわる 【知識・技能】 高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴について理解する。 【思考・判断・表現】 高齢社会の現状や高齢者の生活を知ることにより、高齢者の自立した生活とは何か、自分の考えをまとめる。 【主体的に学習に取り組む態度】 高齢社会の現状、高齢者の生活について積極的に知り、高齢者とかかわろうとする。	1 高齢社会に生きる 2 高齢者を知る 3 高齢者の自立を支える 4 高齢社会を支えるしくみ	2 【知識・技能】 高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 高齢社会の現状や高齢者の生活を知ることにより、高齢者の自立した生活とは何か、自分の考えをまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 高齢社会の現状、高齢者の心身の特徴や生活について積極的に知り、高齢者とかかわろうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3 学 期	消費行動を考える 【知識・技能】 消費行動における意思決定、契約についての知識を身につける。現代の消費生活の課題について認識する。 【思考・判断・表現】 販売方法や支払い方法について、問題点や解決策を考え、判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 消費行動、消費と環境とのかかわりについて積極的に理解する。	1 消費行動と意思決定 2 消費生活の現状と課題 3 消費者の権利と責任 4 ライフスタイルと環境	【知識・技能】 消費行動における意思決定について理解でき、また契約についての知識を身につけている。現代の消費生活の課題について認識できる。 【思考・判断・表現】 多様化する販売方法や支払い方法について、問題点や解決策を考え、判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分が一消費者であることを自覚し、消費行動、消費と環境とのかかわりについて積極的に理解しようとする。	○	○	○	6
	住生活をつくる 【知識・技能】 住まいの機能・役割、家族構成などと住まいの関係について理解する。 【思考・判断・表現】 快適な住環境のための方策を考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい住生活の創造に向けて意欲的に取り組む。	1 人間と住まい 2 住まいの文化 3 住まいを計画する 4 健康に配慮した快適な室内環境 5 安全な住まい 6 持続可能な住まいづくり	【知識・技能】 住まいの機能・役割、またライフステージや家族構成などと住まいの関係について理解している。 【思考・判断・表現】 安全な住まいづくりや、快適な住環境のためにどのような課題があるのか見つけることができ、その課題解決のための方策を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 住まいの機能、住空間の計画や住環境について関心を持ち、快適な住まいづくり、よりよい住生活の創造に向けて意欲的に取り組もうとする。	○	○	○	4
	経済的に自立する 【知識・技能】 人生設計を組み立てる。 【思考・判断・表現】 これからの人生を考え、設計する。 【主体的に学習に取り組む態度】 短期・長期の経済計画について取り組む。	1 暮らしと経済 2 将来のライフプランニング	【知識・技能】 ・短期・長期の経済計画にかかわる実習を通して、人生設計を組み立てることができる。 【思考・判断・表現】 家庭基礎で学んだ技術や知識を確認し、これからの人生を考え、設計できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の経済的自立を考えながら、短期・長期の経済計画について意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
							合計
							63